



後免町で市政こん談会 市街地発展に焦点

公民館事業の一環として、地区の問題や行政全般についてひびきを交えて話し合う「市政こん談会」が、一月二十六日、午後七時から小笠原市長ら関係課長が出席して後免町公民館で行われました。地元からの出席が少なくやや盛り上りに欠けましたが、後免町商店街の発展や住居表示など、後免町が当面かかえている問題について約二時間熱心に討議されました。話し合いに入る前に、門田耕登

備もせひおねがしたい。
答え・以前に「やかましい」ことでトラブルがあったことは聞いています。施設の整備については、財政と協議しながら努力します。
問い・後免町の交通渋滞は町の者の責任だけではなく、行政の責任が多分にあると思う。都市計画はその後どのようになっているのか。
答え・二十五号、十六号街路の計画もあるにはあるが、買取方式でやると多額の費用がかかり、かりに三分の一の国費が得られても、今の市の財政事情を考えるとむづかしいと思います。
問い・計画されている住居表示ですが、道路をはさんで隣りどうし

が分断されると、商売や近所づき合いがやりにくくなる。その点を配慮した方法でやってほしい。
答え・住居表示に関する試案もつてはいますが、住居表示審議会でも検討していただいています。
町内会へも近々説明に上り、ご理解を得ながら進めて行く方針で、とにかく無理のいかない線引きをしなければならぬと考えている。
問い・商店街の発展を願う一人として、せひとも商工課の設置をしてください。
答え・ご希望はよくわかるが、今のところ課の設置は決まっています。市など、行政組織の拡大は慎重にやらなければならぬ時代ですので、議論をしているところです。
問い・商店街の発展は、駐車場の設置と商業者の努力いかによると聞いたことがあるが、他に良い知恵はないものか。
答え・交通渋滞を起すところはそれだけ人が通るところで、その人たちに車を止めて買物をしてもらう方向に持って行かなければならないと思います。通過する足を止める方法は具体的手段（駐車場の設置）と精神的手段（気軽に買物ができるふんい気）とがあり、魅力ある街づくりを考えるべきです。
問い・普通高校誘致の可能性は。
答え・県は積極性を示してくれています。用地問題が最大の課題で、教育委員会とも協議しながら進めて行きます。

「医療」についての質問を

健康増進を目的に「医療相談コーナー」

わが国は、いまや世界一の長寿国となりましたが、一方では、脳卒中、ガン、心臓病などのいわゆる成人病で亡くなる方が年々増えています。また、長い間、慢性病で悩んでいる方も多く見受けられます。

ご家庭でお悩みの方も少なくないと思われれます。こうしたことから、「広報なんこく」では、市民の「健康増進」を目的に、三月一日号より、南国市医師団（山本和人団長）会員四十四名）とタイアップして、「医療相談コーナーQ&A」を掲載していくことになりました。

このコーナーは、市民のみならず、医療についてのいろいろな相談を受け付け、それぞれの相談について「回答の必要なもの、

回答できるものについて、専門の医師から相談者に直接回答していただくと同時に、これらの相談のなかからいくつかを広報の紙面を通して紹介していこうというものです。
市民のみならず、お気軽にご利用ください。
なお、質問は次のような方法でお願いします。
■質問先
南国市大埔甲一三〇一
南国市役所内 広報委員会

封書かハガキでお願いします。本人への回答ができなくなり、ますので、質問の封書、ハガキには必ず、住所・氏名・年齢・職業・性別・電話番号を記入してください。
※相談内容を広報に掲載する場合、本人の氏名は掲載しません。（本人の了解がある場合は掲載することもありますが）相談内容などの秘密は厳守します。どしどし質問をお寄せください。
【広報広聴係】